

2016

3月号
No.248



大津島(平成28年2月1日現在)
人口 302人(男127人 女175人)
高齢化率 76.1%

～若潮の会通信～

昨年の近江に続き第2回
遠足!

～本浦編～

砲台山と石風呂と地元料理



え・ん・そ・く、この言葉はワクワク感がありま
すね。この二月十四日、若
潮の会は、砲台山へ遠足に
行きました。
前夜からの雨でぬかる
んだ本浦からの山道を、捨
った竹を杖に、用心して登
りました。道端には、白い水
仙の花が、私たちを迎えて
くれました。三十分くらい
で兵舎、少し上がって砲台
跡に到着すると、瀬戸の海
がパァーっと広がり、なん
とステキ!頂上はきちん
と整備され、椿や桜の木も
空に向かって凛と伸び、大
津島の宝物をまた発見し
た気分でした。砲台跡を見
ていると、ふと、義母が、

娘時代、背負子で兵舎に物
資を運んだとか、戦艦大
和を見たとか何度も話して
いた事を思い出しました。
砲台山に数々の歴史があ
るんですね。

下山後は、石風呂体験で
したが、これが、また素晴
らしいのです。ムシロが敷
かれた暗い石風呂の中に
六く七人が座りました。中
は、ちょうど良い加減に温
めてあり、十分位入っただ
けで、身体の芯まで温まり
ました。聞けば、朝の四時
半ころから用意されたと
か:感謝!感謝!でした。
その後、公民館で、懇親
会が行われ、そこでも、手
作りの天ぷら、ナマコ酢、
しし汁、ちらし寿司等、ど
れも美味しく頂きました。
最後になりましたが、早
朝よりご準備を頂いた皆
様、大変お世話になりました。
がとうございました。

これからもどうぞ、よろ
しくお願いいたします。

文野間志希子





末兼 南子 (みなこ)さん

出身は甲子園の近く。昭和17年生まれ。

Q. 移住のきっかけは？

A. 退職したら東京に居る意味はない、と夫が故郷に帰ることに決めていました。退職二ヶ月後には引っ越し、もう一四年になります。

Q. 大きな変化は？

A. 夜の外出ができなくなったり。主人の飲み代が減って助かります。(笑い)

お魚もセイゴぐらいまではさばけるようになりました。タコはダメ、主人の仕事。

また、苦手だった猫に癒やされるようになりました。

Q. 都会へ戻りたい？

A. いいえ。でも始めの頃は多彩な都会のナイトライフを懐かしく思いました。

夫の友達など数多くのお客様さんが、島の夜を「静かですね」と必ずおっしゃいます。

その静けさを寂しく思いましたがもう慣れました。お友達もできて「女子会」をしたりもしますね。

Q. 都会っ子が田舎暮らしを始めることに抵抗は？

A. 特にありませんでした。義父が亡くなって間もなく、故郷の空き家の荒廃を見かねて夫が家を建て替えたのが退職する五年前でした。

その後は長い休暇には別荘代わりに来ていましたし、夫の同級生の寿富さんご夫妻など島の人達も親切にして下さっていましたから。

また、船橋の家はしばらくそのままにして置くなり「用意周到」なソフトランディング(軟着陸)でした。

ひよっとしたら、ちよっとずつ手を打たれていたのかも知れませんね。

Q. 住み心地は？

A. 自然環境は素晴らしいと思います。

住環境は建築士の夫が現代的に整えてくれたので快適です。

特に水回りはとても大事ですものね。家が昔のままだったら、とても住む気になれなかったと思います。

(聞き手) 安達道代

文 六郎万淳一

お食事処「ひとやすみ」が2月12日(金)にオープンしました!



連絡先は、☎0834-85-2743です。

営業日は、毎週 金 土 日 月です。

定休日は、毎週火水木ですが、祝祭日の場合は変更となります

営業時間は、冬は10時~17時、夏は10時~20時です。

運営しているのは、「大津島観光サービス」というグループです。

～ お品書き ～

イカスミ海軍カレー 800円

うどん・ラーメン 350円

ビール・お酒等もあります。

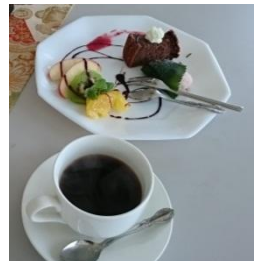
お弁当等ご相談に応じます。



お気軽にお越し下さいね。

コーヒーとデザートセット 500円

コーヒー 350円



600円ランチ



1000円ランチ



1500円ランチ (要予約)

知っちょるかね



「しあわせる話」

文＝松本 千恵子

誰かに何かをやって貰った時、「助かりました。ありがとうございます」と、伝える時に山口県にはとてもいい言葉があるちやあね。「幸せました」ちゆう言葉。「この前はお世話になりました。おかげで幸せました」と聞いた人も豊かな気持ちになる、ええ言葉。山口県がええ言葉として、全国に発信しようとしよるのもわかるね。

「小豆が無あけん、ソラズの餡でしあさせた」とか「辞書を引くのはタイギなけん、ケイタイのツールでしあわせる」とか。この場合、しあわせは「幸せ」じゃあなく「仕合わせ」と書く方が妥当じゃなかるうかと思う。それとも「幸せます」が変形して違う形にも使われ始めたんじゃないか。まあいづれにせよ、島の「しあわせる」は物のない時代、自分の事は自分で何とかしようと思つた、島人の生き方が偲ばれるええ言葉と思うよね。縄が無いから葛のツルでしあわせる、餅米が少ないから餅黍やただ米や粟の餅も足してしあ

わせる、弁当箱の代わりにイチジクの葉でしあわせるなど、その時代毎に工夫をして貧しい暮らしを乗り越えてきた先人達の、たくましさや労苦を今の時代に伝える「しあわせる」。

今のように物が溢れた時代にあっても、島の人達の心の中には今でも伝統の「しあわせる」は残つちよって、足りない物の代わりに何か使えはすまいかと工夫を凝らすのは巧みじゃね。磯に出て、思いも掛けず沢山の漁があつた場合、浜に打ち上がった雑多な物の中から使えそうなバケツや網などを拾つてしあわせる。墓参りのジキミが無いからイシヤシヤキ柴でしあわせるちゆう具合に。

暮らしの中の、ほんの小さい事柄のようなきるちゆう姿勢を表している「しあわせる」。私らは誇りに思つてもええと思うんよね。

ひろしのつぶやき



「末期高齢」

文＝屋野 廣志

消防を退団時は、まだ僅かであるが、頭髮もあつた筈、時後十年聴力臭覚は衰え、大食漢は小食となり、老化も此の頃より、急速に進んだ。作業も長時間は続かず、大事な事もうっかり忘れ、知つて居る事も口に出さず。

で遊んだ体足腰には、ひそやかな自信あつたが、昨年より股関節、ひざの痛みに加へて筋肉全体のシビレ疼痛は、先輩・祖父母・母達の神経痛とは、此の事か。まだ四十・五十才代であつたか、足や背中や腕などの大きな灸跡を思い出す。

若い頃より健康と辛抱強さには、僅少ながら自信があつた。それと云ふも少年時疫病を患い快癒した時の言葉「お前は此の大病に勝ち得た体は、免疫が強く生涯病気に罹る事は無い」

旧暦の二月二日と八月二日は、お灸の日と暦に有り、神経痛には灸、止血には「よもぎ」腹痛・歯痛には「アロエ」や「センブリ」の苦味を噛みしめた。

当時、村医である末兼氏の尊祖父の言葉は、常に現在も心頭より離れる事は無く、又終戦後二・三年間の貴重な神戸での流浪の生活は若さ故に耐へ、粗食雑食は幼児より習い、海と砂浜

代議士に献金をするお医者さんも、薬を作る人や食品を扱ふ人達も信じ難く、「モグサ」や「ヤイトウ」も死語とは成るが、子供の頃に聞いたお灸や薬草の効き目は如何なものか、とつぶやく。

「もやいネット 大津島地区ステーション」 2月1日に開所しました



もやいネット地区ステーションとは、周南市と大津島の社会福祉協議会が行う見守り活動の拠点施設で、事務所は大津島支所です。

この活動は、孤独死を防ぐために、民生委員さん等の友愛訪問活動に加えて、見守りを増やすためです。

民生委員さんから依頼を受けた方の見守りをします。そして、困りごとを関係機関につなぎます。

見守りのため巡回訪問する方をコーディネートターと言い、高松悦子さん（柳浦）が行います。

しばらくは、大津島の民生委員さんと市の社会福祉協議会の担当者も同行して、お話を伺いに行きます。

豊かな生活が続くように、みんなで協力していきましょ。

～事務局からのお知らせ～



63個目で全員がビンゴ!

お肉10キロ
エビ2箱を
あっという間に完食!



移動図書館<やまびこ号 Jr.>

3月25日(金) 4月22日(金)

- 馬島巡航待合所 11:30~12:00
- 刈尾巡航待合所 12:20~12:50

大津島の最新情報は、オフィシャル Face book ページで紹介しています。のほほん大津島
<https://www.facebook.com/nohohon.oodushima/>

平成28年度 大津島巡航利用券 を交付します

○対象者：75歳以上の大津島地区住民

○交付枚数：24枚

○申請場所

大津島支所

市役所仮庁舎生活安全課（銀座2-13、旧近鉄松下百貨店4階）

※生活安全課の場所が変わっています。
ご注意ください。

○申請方法

保険証・運転免許証等、本人確認のできる書類をお持ちください

○受付期間：3月17日(木)から

○その他

- ・平成28年度中に75歳を迎えられる方は、誕生日以降の申請となります
- ・5月以降の申請の場合、来年3月までの月数×2枚分になります
- ・代理人による申請も可能です
- ・利用券は4月1日から使用することができます

次回発行日

平成28年 5月1日—第249号

◆発行

第248号—平成28年3月1日—大津島地区コミュニティ推進協議会
事務局 大津島支所 周南市大字大津島1361-4 TEL 0834(85)2001